
古城・古戦場めぐり

～武田信玄・上杉謙信 両雄激突の地～ 川中島

岩田芳子

●平成 29 年 4 月 8 日(土), 9 日(日)

●天気 晴れ

●メンバー 嶋田, 太田, 島崎, 松田,
岩田, 太田友人〔寺田さん〕

●山行 1 日目 (レンタカー使用)

西武練馬駅 7:30---11:10 松代城(海津城)跡---(昼食)--妻女山 13:00---(武田軍啄木鳥(きつつき)隊逆コースで)----松井須磨子碑---象山神社 14:30-----松代象山地下壕 15:45----松代城跡----松代荘(宿泊)

2 日目

松代荘 9:30----茶臼山 10:30--善光寺 11:30-(昼食)-----川中島古戦場跡-----西武練馬駅

1 日目

松代は川中島合戦の戦跡、松代城跡(海津城)、真田十万石の旧跡、真田幸村、山本勘助、佐久間象山、松井須磨子などの遺跡、建築物、また、松代大本営予定地跡などがあり、史跡・文化財でいっぱいの地である。西武練馬駅に集合し、レンタカーで一路松代へ。最初に海津城跡を見学した。武田信玄が山本勘助に命じて築らせた城、地形の利をたくみに取り入れた城で名城だ。旧長野電鉄の廃線あとを歩いて一番の目的地、妻女山へ。妻女山は上杉謙信が陣営をもうけた小高い山。

展望が良く、妻女山からは川中島、海津城が一望できた。海津城での飯炊きの煙もすぐに気づいたことだろう。これよりは武田軍の啄木鳥隊コースの逆周りで史跡をめぐり再び海津城へもどる。古峰神社、松井須磨子の墓を見学し、象山神社へ。幕末の先覚者であった佐久間象山を祀った神社でその功績に驚かされる。戦争遺跡、地下軍事施設の象山地下壕へ。第二次世界大戦の末期に軍部が秘密裏に大本営、政府各省庁をこの地に移すために掘った地下壕。網の目のように掘られた地下壕のスケールの大きさに驚かされ、当時の状況を思うと心重くなる。海津城に戻り近くの史跡を散策した。

2 日目

茶臼山へ。武田信玄が一時本陣をかまえ、ここから海津城へ入ったといわれる。川中島一帯がよく見渡せる。今は崩壊が進み、山頂へ行くことはできなかった。善光寺見学後、川中島古戦場・八幡原史跡公園へ。5 回にわたって繰り上げられた川中島の戦い、第 4 次八幡原の激戦の地。龍虎相激突に思いをはせる。

第 2 回目となる歴史散歩古戦場めぐり企画、新しい発見がたくさんあった有意義な山行だった。